

平成31年度 重点目標を達成するための行動計画(アクションプラン)

高岡市立志貴野中学校

【重点目標】 「思いやりと感謝の心を大切にし、互いに協力し合い、大きな夢の実現を目指す生徒の育成」
 —あらゆる場面で「まじめがかっこいい」志中生を目指して—

- | | |
|--------------------------|-------|
| 時：時間を大切に集中して授業に取り組んでいる。 | 90%以上 |
| 場：細かなところまで丁寧に清掃に取り組んでいる。 | 90%以上 |
| 礼：自ら進んで挨拶を行っている。 | 90%以上 |
| 責：互いに高め合いながら学習に取り組んでいる。 | 90%以上 |

前年度

平成28年度より、本校の行動目標である「時場礼責」に当てはめた目標を設定し、生徒の学力向上と社会性の向上に努めてきた。昨年度は、4つの項目全てで、設定した数値目標を達成することができた。しかし、課題であった教員と生徒の評価結果の差の改善において、十分な成果を得ることができなかった。今年度は、引き続き、行動目標「時場礼責」を意識した目標を設定する。特に、生徒と教職員が望む生徒像を共有し、活動することができるように取組を工夫していきたい。

行動 I

「時」「責」
 < 学力の向上 >

- ①生徒が、集中して授業に取り組める環境を作るために、学習スキルの定着を図るとともに、課題等を明確にし生徒が見通しをもって学習に取り組めるよう取組や評価を工夫する。
- ②生徒が、互いに関わり合いながら、深い学びを実現するために、「教えて考えさせる授業」の実践に取り組む。

「場」「礼」
 < 社会性の育成 >

- ①生徒が、進んで挨拶ができるようになるために、生徒会の挨拶運動や道徳科の授業等の充実を図るとともに、教師から進んで挨拶を行う。
- ②生徒が、丁寧に清掃を行うことができるようになるために、清掃の仕方の工夫・改善や生徒会活動の充実に取り組む。また、校舎を大切にしようとする心を育むために、道徳科の授業の充実を図る。

中間評価

◇在り方集会（生徒、生徒会役員による評価）
 全校生徒で成果を共有し、次のステップへの活動意欲となるよう支援する。
 ◇学校評価（生徒、保護者、教職員による評価）
 調査結果の肯定的な評価が90%以上となるよう努める。
 （90%以上であれば行動計画を継続・発展、90%未満の項目については、行動計画を修正、再考し対策を練る。）
 ◇学校評議委員会での提示・検討（6月、10月）
 ○公開の仕方
 評価結果（成果、課題、顕著な例）を学校だよりやHP、保護者会等で提示する。

行動 II

「時」「責」
 < 学力の向上 >

- ①②は継続
- ③生徒が、授業を通して、関わり合い、考えを深め、高め合うことができるように、研究授業等を通して、授業改善に努める。

「場」「礼」
 < 社会性の育成 >

- ①②は継続
- ③生徒の環境美化に対する意欲がさらに高まるように、生徒と目標の達成状況を共有し、活動の充実を図る。

年度末評価

◇在り方集会（生徒、生徒会役員による評価）
 全校生徒で成果を共有し、次のステップへの活動意欲となるよう支援する。
 ◇学校評価（生徒、保護者、教職員による評価）
 調査結果の肯定的な評価が90%以上となるよう努める。
 （90%以上であれば行動計画を継続・発展、90%未満の項目については、行動計画を修正、再考し対策を練る。）
 ◇学校評議委員会での提示・検討（6月、10月）
 ○公開の仕方
 評価結果（成果、課題、顕著な例）を学校だよりやHP、保護者会等で提示する。

次年度

◇評価結果や生徒の実態から、来年度の重点目標、行動計画を検討する。
 ◇適切な評価の仕方、公表の仕方についても検討する。